

## ヨード造影剤検査を受けられる患者さまで、糖尿病薬を服用している方へ

糖尿病薬のうち、ビグアナイド系糖尿病薬(別紙一覧参照)を服用している患者さんに、造影CTや尿路造影検査で用いるヨード造影剤を投与した場合、極めて稀にはありますが、乳酸アシドーシスという重篤な副作用を発現することがあり、一時的に服用を中止するのが望ましいとされています。

乳酸アシドーシスの症状は、初期症状として、筋肉痛・筋肉痙攣・倦怠感・脱力感・腰痛・胸痛・嘔気・嘔吐などで始まり、進行すると過呼吸や脱水・低血圧・低体温などの症状が現われ、放置すると昏睡状態に陥ることもあります。

- 万が一の副作用を防止するため、ビグアナイド系糖尿病薬を服用している方は、
- ①**造影CT検査前48時間**は、ビグアナイド系糖尿病薬の服用中止をお願い致します。
  - ②**造影CT検査後48時間**も、ビグアナイド系糖尿病薬の服用中止をお願い致します。

尚、服用中止をされていなかった場合、造影検査を中止させて頂く場合がございます。

### ◆検査予約日時

月 日 時 分から

### 【ビグアナイド系糖尿病薬服用中止期間】

#### ◆検査前

月 日 時 分から、薬の服用を中止して下さい。

#### ◆検査後

月 日 時 分から、薬の服用を再開して下さい。

造影検査後の帰宅後でも、体調不良などありましたら、いつでもご連絡下さい。  
その他、何かご不明な点がございましたら、当院までご連絡下さい。

福岡青洲会病院(代表) 092-939-0010